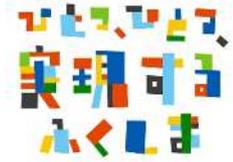


## 主要な農作物の生育情報



令和6年度 第11号  
(令和7年2月10日現在)  
福島県農林水産部農業振興課

### 【小麦】

きぬあずまの幼穂形成始期は、農業総合センター本部（郡山市）では12月31日で平年より23日早く、浜地域研究所（相馬市）では1月14日で平年より3日早くなっています（表1）。

表1 小麦のは種期と生育ステージ（農業総合センター）

調査場所	品 種	は種期 (月.日)	出芽期 (月.日)	幼穂形成始期 (月.日)	節間伸長開始期 (月.日)	出穂期 (月.日)
本 部	ゆきちから	10.21	10.28			
	きぬあずま	10.21(+ 2)	10.28(- 2)	12.31(-23)	(平年3. 9)	(平年4.23)
	さとのそら	10.21	10.28			
会津地域研究所	ゆきちから	10. 7(+ 1)	10.12(±0)	(平年3.10)	(平年3.30)	(平年5. 4)
浜地域研究所	きぬあずま	10.28(+ 2)	11. 6(- 2)	1.14(- 3)	(平年3. 3)	(平年4.20)
	さとのそら	10.28	11. 6	1.30		

注1) 調査場所は、本部が郡山市、会津地域研究所が会津坂下町、浜地域研究所が相馬市

注2) 括弧内の数字は、平年差または平年値、本部のゆきちからとさとのそら、浜地域研究所のさとのそらの平年値はなし

### 【野菜】

#### 1 秋冬にら

収穫は、1年株の3番刈りが平年並の1月中旬から、2年株の4番刈りが平年並の2月上旬から始まっています。葉幅が狭い傾向にあり、また、低温により生育が緩慢となり、一部のほ場において葉の黄化が見られています。

病虫害は、一部のほ場において白斑葉枯病やネダニ類の発生が見られています。

#### 2 いちご

普通促成栽培は、頂果房で収穫が続いており、第1次腋果房で開花から果実肥大期となっています。夏期の高温により花芽分化が遅れたため、平年より生育がやや遅れています。

病害は、うどんこ病が一部のほ場で見られており、害虫は、ハダニ類、コナジラミ類が多く発生しています。

### 【花き】

#### 1 ユキヤナギ

12月から始まった出荷は順調に続いており、3月まで続く見込みです。

目立った病虫害の発生は見られていません。

#### 2 サクラ

12月から始まった出荷は順調に続いており、3月まで続く見込みです。

一部地域で枝の二次伸長による出荷量への影響が懸念されましたが、平年並みの出荷量に落ち着いています。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ）  
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/> 等を活用し、適切に対応しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7344

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiiku>